

平成19年度 研修のご案内

(財)電源地域振興センターでは、平成十九年度も電源地域の振興を支援するため、電源市町村の職員、農協、漁協、商工会などの各種団体職員や住民の皆さまを対象にさまざまな研修を実施いたします。

本年度の研修は、これまでに受講された参加者のアンケートにおける要望や電源市町村を取り巻く社会状況の変化を的確にとらえ、昨年引き続き「住民との協働」「民間活力の利用」「住民の経済力向上」を全ての研修における共通の課題としています。電源地域の現場で活躍する実務担当者のお役に立つ、実践的な内容を予定しています。また、センター内での研修を中心としながらも、先進事例地での視察や交流を多く取り入れた体験カリキュラム型の現地研修を引き続き取り入れることで、研修の一層の充実を図り、電源地域の人材育成に寄与する研修を行ないます。

No.	研修テーマ	時期	日数	定員	備考
1	～住民参加の地域づくり～ コミュニケーションセンスを磨く	H19.6	2	30	
2	～住民参加の地域づくり～ 企画立案能力開発講座	H19.6	2	30	
3	～自然に優しい環境づくり～ 「脱温暖化社会」と「循環型社会」の構築を目指して	H19.8	2	40	
4	少子高齢化社会における地域づくりを学ぶ	H19.8	2	40	
5	地域福祉のあり方を学ぶ	H19.10	2	40	
6	新しい地域づくりを学ぶ ～行政とNPO、コミュニティ・ビジネスとの協働～	H20.2	2	40	
7	～住民参加の地域づくり～ まちづくりワークショップの進め方を学ぶ	H19.12	2	30	
8	安全に暮らせるまちづくり ～地域における防災コミュニティを考える～	H19.12	2	40	
9	農山漁村で活躍する女性達 ～起業と法人化を学ぶ～	H19.7	2	40	
10	ツーリズム入門講座 (先進地に学ぶ)	H19.10	3	40	先進現地研修
11	農業の担い手対策と直販を学ぶ	H19.12	2	40	
12	水産業の担い手・経営安定化対策を学ぶ	H19.9	2	30	先進現地研修
13	地域中小企業の活性化対策を学ぶ	H19.7	2	40	
14	中心市街地活性化対策を学ぶ	H19.9	2	40	
15	観光からのまちづくりを学ぶ	H19.11	3	40	先進現地研修
16	持続可能な自治体運営を学ぶ	H19.9	2	40	
17	地域特性を活かした特産品の開発・改良を考える (東京Ⅰ)	H19.10	2	40	
18	地域特性を活かした特産品の開発・改良を考える (東京Ⅱ)	H20.2	2	40	
19	地域特性を活かした特産品の開発・改良を考える (千葉)	H19.4	2	40	先進現地研修
20	地域別ニーズ研修Ⅰ。(四国)	H19.7	2	20	経済産業局別研修※1
21	地域別ニーズ研修Ⅱ。(近畿)	H19.11	2	20	〃
22	地域別ニーズ研修Ⅲ。(九州)	H20.2	2	40	〃
23	地域別ニーズ研修Ⅳ。(中国)	H20.1	2	30	〃
24	海外事前研修/海外電源市町村トップセミナー	H19.7	1	10	海外研修参加者対象
25	海外事前研修/海外のコミュニティ・ビジネスを活用した地域振興事例を学ぶ	H19.9	2	25	〃
26	海外事後研修/海外のコミュニティ・ビジネスを活用した地域振興事例を学ぶ	H20.1	1	25	〃
27	海外電源市町村トップセミナー	H19.8	8	10	ヨーロッパ
28	海外のコミュニティ・ビジネスを活用した地域振興事例を学ぶ	H19.10	8	25	ヨーロッパ

※1 原則として、要望がある経済産業局単位で実施します。

お問い合わせ先  
 (財)電源地域振興センター 人材育成課  
 電話：03・5405・8114  
 e-mail: jinzai@dengen.or.jp まで

「夏休み親子体験学習会2007 in 東京」参加募集のお知らせ

お問い合わせ先  
 (財)電源地域振興センター 普及啓発課  
 電話：03・5405・8128  
 e-mail: fukyuu@dengen.or.jp まで

from the Center

当センターでは、経済産業省資源エネルギー庁の委託を受け、エネルギー、原子力について楽しく学べる「夏休み親子体験学習会2007 in 東京」を以下のとおり開催いたします。費用無料で参加できるうえ、夏休みの自由研究にもぴったりです。募集地域の皆さまからのご応募をお待ちしております。

**親子で夏休み 親子体験学習会2007 in 東京**

夏休みの自由研究に! 参加費用無料

資源が少ない日本。地球環境問題やエネルギー問題は今や大きな課題ですね。エネルギーや原子力発電のしくみについて、親子で一緒に楽しく学びませんか?

お申込み締切: 2007年6月29日(金)

**日時** 2007年7月30日(月)～7月31日(火)

**会場** 7月30日 電力館 東京都渋谷区神南1-12-10  
7月31日 科学技術館 東京都千代田区北の丸公園2-1

**対象者** 原子力立地・計画地域等の小学生(4～6年生対象)

**対象人数** 26名及びその保護者26名の計52名 応募多数の場合は抽選となります

**募集地域** 数字はエリア番号  
 1.北海道 泊村 2.青森県 大間町 3.青森県 東通村 4.青森県 六ヶ所村 5.宮城県 女川町  
 6.宮城県 石巻市 7.福島県 浪江町 8.福島県 南相馬市小高区 9.福島県 双葉町 10.福島県 大熊町  
 11.福島県 富岡町 12.福島県 楢葉町 13.新潟県 柏崎市 14.新潟県 刈羽村 15.茨城県 東海村  
 16.静岡県 御前崎市 17.石川県 志賀町 18.福井県 敦賀市 19.福井県 美浜町 20.福井県 おおい町  
 21.福井県 高浜町 22.鳥根県 松江市 23.山口県 上関町 24.愛媛県 伊方町 25.佐賀県 玄海町  
 26.鹿児島県 薩摩川内市 (順不同)

**参加費用** 無料

**スケジュール** (道路事情その他により、行程及びプログラムは変更になる可能性があります。)

<b>1日目</b>	電力館集合(14:00) ⇒ バス移動 ⇒ ホテル到着(17:30) ⇒ ホテル宿泊(20:00)
	オリエンテーション 夕食 宿泊先: こまばエミナース おもしろいサイエンスショー 交流会(電車でGO!(小学生) 見意見交換会(保護者) 東京都目黒区大橋2-19-5
<b>2日目</b>	ホテルにて朝食後 ⇒ バス移動 ⇒ 科学技術館到着(9:15) ⇒ 記念撮影及び解散式(13:05)
	ホテルロビー集合 「アトモス」体験 各自解散 ワークショップ「プルサーマルって何?」 昼食

※参加費用に含まれるもの【往復交通費(公共交通機関)、宿泊費(1日目夕食、2日目朝食・昼食を含む)、科学技術館入場料】  
 ※往復交通手段については原則鉄道利用とする。ただし、上記募集地域の中で、赤字番号の地域については、航空機利用可とする。  
 ※募集で得られた個人情報、「夏休み親子体験学習会」に関する範囲外に利用、提供は致しません。

**申込み先** 財団法人電源地域振興センター 普及啓発課内「夏休み親子体験学習会」事務局  
**お問い合わせ先** 〒105-0013 東京都港区浜松町1-18-16 住友浜松町ビル6階  
 TEL: 03-5405-8128 (平日 10:00～17:00) FAX: 03-5405-8103 HP: http://www.dengen.or.jp/

**主催: 経済産業省 資源エネルギー庁**  
**運営: 財団法人 電源地域振興センター**

**お申込みは2007年6月29日(金)までとなっております。**  
**申込み方法についてはお問い合わせいただくか、当センターのホームページHPをご覧ください。**

お問い合わせ先  
 (財)電源地域振興センター 立地審査課  
 電話：03・5405・8113  
 e-mail: ritti@dengen.or.jp まで

地域区分	増加雇用者数			
	3～9人	10～19人	20～29人	30人以上
A地域	7,500円/㎡(1億円)	10,000円/㎡(1.5億円)	12,500円/㎡(2億円)	15,000円/㎡(2.5億円)
B地域	2,500円/㎡(0.5億円)	3,750円/㎡(1億円)	5,000円/㎡(1.5億円)	6,250円/㎡(2億円)
C地域	1,250円/㎡(0.3億円)	2,500円/㎡(0.5億円)	3,750円/㎡(1億円)	5,000円/㎡(1.5億円)

・A地域とは、原子力発電・再処理・加工・実用ウラン濃縮・貯蔵又は廃棄のそれぞれの施設の既設置市町村、又はそれらの施設の立地見込み市町村及びその隣接市町村をいいます。  
 ・B地域とは、A地域を除く立地見込み市町村及びその隣接市町村をいいます。  
 ・C地域とは、電源地域のうち過疎地域の指定を受けている市町村をいいます。  
 ・核燃料サイクル施設地域(むつ市、東海村、横浜町、六ヶ所村、平内町、野辺地町、東北町、七戸町、三沢市、十和田市(旧十和田市分)、六戸町、おいらせ町)についての面積当たりの単価は、A地域の単価1.2倍になります。  
 ・一部特定の団地に立地し、増加雇用が10人以上の場合、算定単価に2,500円/㎡の上乗せが行われます。  
 ・増加雇用者数とは、平成19年3月1日以降、対象設備の整備完了日から30日後(平成20年2月末日を最終日とする)までに増加した雇用者数をいいます。

(例)食品製造会社が工場を新設し、食品製造設備の整備三千万円を補助対象事業としてこの補助制度を利用する場合、増加雇用者数が三十人、工場の新設延べ床面積が二千万メートルとしますと、補助金の交付限度額は立地地域がA地域の場合三千万円、B地域の場合千五百五十万円、C地域の場合一千万円となります。

平成19年度下期 電源過疎地域等企業立地促進事業費補助金について

当センターでは、国の委託を受けて、電源地域のうち、過疎地域、原子力地域等の産業振興を図るため、当該地域において新増設する企業に対し補助金の交付に関する業務の一部を行っています。

補助の対象は、企業が当該新増設によって行う生産または営業の用に直接供せられる設備(建築物(土地を除く)又は機械、器具もしくは備品)を整備する事業です。

なお、補助を受けるためには、主に次の三つの要件を全て満たすことが必要となります。

① 補助の対象となる設備は、申請者である企業が所有し、平成十九年十月以降、平成二十年二月末日までに国の交付決定を受けてから着手し、完了すること。  
 ② 工場、事業所等の建物を新増設すること。  
 ③ 三人以上雇用者が増加すること。

また、交付限度額については、次の三つのうち最も低い額を交付限度額とし、その範囲内で交付額を決定いたします。

① 補助対象事業に要する費用。② 左表に示した地域区分および増加雇用者数ごとに設定した面積当たりの単価と、建物の延べ床面積とを乗じて得た額。③ 左表の(一)内に示した、地域区分と増加雇



# 「電気」のふるさと新じまん市」を 千葉・幕張メッセで開催しました

「電気」のふるさと新じまん市」を、平成十九年四月二十日(金)～二十一日(日)の三日間、国内最大級である旅の総合見本市「旅フェア2007」と共同で、千葉の幕張メッセで開催しました。国民的に人気のある「旅」と「食」との融合によって「楽しさ」の相乗効果を演出し、これまでの「じまん市」のお客さまに加えて、新しいお客さまへも電源地域の紹介をすることができました。期間中は十五万人を超えるお客さまにご来場いただき、会場は終日にぎわいました。



「電気」のふるさと新じまん市」エリアでは、北は北海道から南は沖縄まで六十二市町村が出展し、約一〇〇ものこだわりの産品や電源地域の豊かな自然や文化、社会的役割を紹介し電源地域へ

の理解促進を図りました。

特に「ミニステージ」では、市町村の魅力を展覧者の方が自ら紹介し、「わが町の特産品」をプレゼントにじゃんけん大会を開催したり、電源市町村の首長が出演し電気の生産地をPRしました。

また、恒例の「じまん市大賞」には、出展品の中から応募のあった二十産品がエントリーされ、百貨店バイヤーや流通関係者による厳正なる審査の結果、「青森県七戸町」「中村さん家の手作り・こだわりの逸品(リンゴジュース)」が大賞に選ばれました。これを受け代表の岡村光男さんからは「りんごの中でも完熟したのみを使用し、無添加、無着色にこだわって製造しました。商品化までには素材の選び方や製造方法など試行錯誤の繰り返しでしたが、このよう賞をいただくことができて大変うれしです」と喜びの声が聞かれました。



「じまん市大賞」を受賞した産品を紹介する青森県七戸町代表の岡村光男さん

# 「電気」のふるさとじまん市 産品ネットショップ」 リニューアルのお知らせ

当センターでは、電源地域の特産品をインターネット上のショッピングモールで紹介する「電気」のふるさとじまん市産品ネットショップ」を実施しています。これは電源地域の魅力ある特産品を全国に紹介し、通信販売で購入する機会を提供するもので、昨年十一月のオープン以来、多くの方々にご利用いただいております。



携帯版もあります  
http://pokb.jp/user/6131165

旬にリニューアルいたします。今回のリニューアルでは、取り扱う特産品を更新するほか、特産品の写真や紹介文を増やし、その魅力をこれまで以上にPRして、更なる購入につながっていくと共に、その特産品が生産されている地域にも興味を持ってもらえるように、市町村を紹介する写真や情報を商品ページに掲載する予定です。また、「産品ネットショップ」のリニューアルに合わせ、「じまん市メールマガジン」の発行も始めました。「産品ネットショップ」の紹介を中心に、週一回のペースで発行しています。「じまん市メールマガジン」では購読者を常時募集しておりますので、配信ご希望の方はこちらまでご連絡ください。

お問い合わせ先  
■お問い合わせ先  
(財)電源地域振興センター 販売支援課  
電話：03-5405-8119  
e-mail: hanbai@dengen.or.jp

## 【Vol.7 読者の声から】

●女性の視点と行動力によって特産品や観光振興を進めている上田市丸子地域を紹介した「電源地域のサクセスストーリー」を読んで、地域で新しいものを作り出している女性たちの活力に感心しました。

(山口県和木町 女性)

●上田市丸子地域の誌面にご登場された女性たちからは、地元を愛している気持ち伝わってきました。

(新潟県刈羽村 女性)

●まちづくりにはソフト面での充実が望ましいと思うが、すぐに収入に結びつくもの少なく難しい点が多いと感じています。

(石川県志賀町 女性)

●投稿記事「読者の声」には、地域の特色に誇りを持った声が多くあり、感心しました。

(北海道奈井江町 女性)

●最近私の市では、政策でなく市民から地産地消の動きが出ています。特に滝川産のホルユタカ小麦を使った料理が多くなっています。

(北海道滝川市 男性)

## 【読者プレゼント】

今号の特集「Pick Up」にご登場いただきました「會社NEXT」代表・細谷さんのご厚意により、「会津漆器」を五名様様にプレゼントいたします。とじ込みのアンケートハガキに本紙へのご意見、ご感想などを記入の上、平成十九年七月二十日(消印有効)までにお送りください。なお、当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。



## 「会津漆器」に関するお問い合わせ先

会津漆器協同組合  
福島県会津若松市大町一七七一  
TEL:0242-244-5757

## 【編集後記】

皆さまからのおハガキを楽しみに読ませていただいています。今後ともよろしくお願いたします。(S)

## 人事往来

### ●電源立地都道府県知事(平成19年2月～4月選挙分)

都道府県名	氏名	当選月日	県名	氏名	当選月日	県名	氏名	当選月日
愛知	神田 真秋	2月4日	福井	西川 一誠	4月8日	徳島	飯泉 嘉門	4月8日
北海道	高橋 はるみ	4月8日	三重	野呂 昭彦	4月8日	福岡	麻生 渡	4月8日
岩手	達増 拓也	4月8日	奈良	荒井 正吾	4月8日	佐賀	古川 康	4月8日
東京	石原 慎太郎	4月8日	鳥取	平井 伸治	4月8日	大分	広瀬 勝貞	4月8日
神奈川	松沢 成文	4月8日	島根	溝口 善兵衛	4月8日			

### ●電源地域市町村首長(平成19年2月～4月選挙分)

市町村名	氏名	当選月日	市町村名	氏名	当選月日
木島平村(長野)	芳川 修二	2月4日	函館市(北海道)	西尾 正範	4月22日
菟野町(三重)	石原 正敬	2月4日	室蘭市(北海道)	新宮 正志	4月22日
生坂村(長野)	藤澤 泰彦	2月6日	夕張市(北海道)	藤倉 肇	4月22日
美浜町(和歌山)	入江 勉	2月6日	滝川市(北海道)	田村 弘彬	4月22日
舞鶴市(京都)	舞藤 彰	2月11日	北上市(岩手)	伊藤 彬	4月22日
清川村(神奈川)	大矢 明夫	2月11日	上小阿仁村(秋田)	小林 宏晨	4月22日
潮来市(茨城)	松田 千春	2月18日	大蔵村(山形)	加藤 正美	4月22日
御代田町(長野)	茂木 祐司	2月18日	松枝枝村(福島)	星 光祥	4月22日
山元町(宮城)	大條 修也	2月18日	猪苗代町(福島)	津金 要雄	4月22日
井川町(秋田)	齋藤 正寧	2月18日	柳津町(福島)	井関 庄一	4月22日
美浜町(福井)	山口 治太郎	2月20日	平田村(福島)	二瓶 清美	4月22日
東川町(北海道)	松岡 市郎	2月23日	古殿町(福島)	岡部 光徳	4月22日
山ノ内町(長野)	竹節 義孝	2月25日	会津若松市(福島)	菅家 一郎	4月22日
野尻町(宮崎)	長瀬 道大	3月11日	高崎市(群馬)	松浦 幸雄	4月22日
浜松市(静岡)	鈴木 康友	4月8日	桐生市(群馬)	亀山 豊文	4月22日
芦別市(北海道)	林 政志	4月15日	碓氷村(群馬)	熊川 栄	4月22日
赤平市(北海道)	高尾 弘明	4月15日	佐倉市(千葉)	蔵 和雄	4月22日
三笠市(北海道)	小林 和男	4月15日	習志野市(千葉)	荒木 勇	4月22日
砂川市(北海道)	菊谷 勝利	4月15日	鋸南町(千葉)	白石 治和	4月22日
伊達市(北海道)	菊谷 秀吉	4月15日	おおい町(福井)	堀内 茂	4月22日
大館市(秋田)	小畑 元	4月15日	富士吉田市(山梨)	南アルプス市(山梨)	今沢 忠文
日立市(茨城)	櫻村 千秋	4月15日	茅野市(長野)	柳平 千代一	4月22日
鈴鹿市(三重)	川岸 光男	4月15日	阿南町(長野)	佐々木 暢生	4月22日
敦賀市(福井)	河瀬 一治	4月15日	小谷村(長野)	小林 三郎	4月22日
姫路市(兵庫)	石見 利勝	4月15日	土岐市(岐阜)	大野 信彦	4月22日
京極町(北海道)	山崎 一雄	4月17日	渡辺 公夫	谷口 尚	4月22日
新十津川町(北海道)	植田 満	4月17日	白川村(岐阜)	富土宮市(静岡)	小室 直義
中川町(北海道)	亀井 義昭	4月17日	富土宮市(静岡)	田原市(愛知)	鈴木 克幸
豊富町(北海道)	工藤 栄光	4月17日	美浜町(愛知)	山下 治夫	4月22日
壮瞥町(北海道)	山中 漢	4月17日	朝日町(三重)	田代 兼二郎	4月22日
足寄町(北海道)	安久津 勝彦	4月17日	五條市(奈良)	吉野 晴夫	4月22日
矢中町(岩手)	川村 光朗	4月17日	すさみ町(和歌山)	橋本 明彦	4月22日
磐梯町(福島)	五十嵐 源市	4月17日	周南市(山口)	島津 幸男	4月22日
会津坂下町(福島)	竹内 晔俊	4月17日	那賀町(徳島)	坂口 博文	4月22日
松川町(長野)	竜口 文昭	4月17日	松山市(愛媛)	中村 時広	4月22日
小山町(静岡)	高橋 宏	4月17日	土佐町(高知)	西村 卓士	4月22日
東員町(三重)	佐藤 均	4月17日	直方市(福岡)	向野 敏昭	4月22日
下北山村(奈良)	上平 一郎	4月17日	芦屋町(福岡)	波多野 茂丸	4月22日
大崎上島町(広島)	藤原 正孝	4月17日	長崎市(長崎)	田上 富久	4月22日
遠賀町(福岡)	木村 隆治	4月17日	佐世保市(長崎)	朝長 則男	4月22日
南小国町(熊本)	河津 修司	4月17日	小国町(熊本)	小国 耕亮	4月22日
諸塚村(宮崎)	成嶋 孝孜	4月17日	湯前町(熊本)	鶴田 正己	4月22日
中頓別町(北海道)	野邑 智雄	4月22日	水上村(熊本)	成尾 政紀	4月22日
鹿追町(北海道)	吉田 弘志	4月22日	大分市(大分)	釘宮 博	4月22日
今金町(北海道)	外崎 秀人	4月22日	別府市(大分)	濱田 晃史	4月22日
由仁町(北海道)	竹田 光雄	4月22日	木城町(宮崎)	田口 晃史	4月22日
美瑛町(北海道)	浜田 哲	4月22日	宜野湾市(沖縄)	伊波 洋一	4月22日
美深町(北海道)	山口 信夫	4月22日			
天塩町(北海道)	浅田 弘隆	4月22日			